

「多面的・多角的に考えること」

を重点とした道徳科の授業づくり

第1学年 道徳科学習指導案

- 1 主題名「クラスの生活をよくするために」(内容項目：C-11 公正、公平、社会正義)
- 2 教材名「席替え」(出典「新しい道徳1」東京書籍)
- 3 主題設定の理由

正義を重んじるということは、正しいと信じることを自ら積極的に実践できるように努めることであり、公正さを重んじるということは、私心にとらわれて事実をゆがめることを避けるように努めることである。道理にかなった正しいことを自ら認識し、それに基づいて適切な行為を主体的に判断し、実践しようとする意欲や態度を育みたい。

この時期の生徒は、自己中心的な考え方や偏った見方をしてしまい、他者に対して不公平な態度をとる場合がある。また、周囲で不公正があっても、多数の意見に同調したり傍観したりするだけで、勇気を出して制することに消極的になってしまうことがある。正義と公正を実現するために、自分の弱さに向き合い、意志を強くもち、仲間と力を合わせて努力することの大切さに気付くよう促したい。

本教材では、一部の生徒がきまりを守らず勝手に席を替えてしまったことに憤りを感じた主人公が、迷いを抱えつつも、学級のために席替えのやり直しを提案するという内容である。生徒にとって席替えは、学校生活に直接関わるため、本教材の出来事を自分事として捉えやすいと考える。本題材を通して、集団生活における公正、公平とは何かを考えられるよう、自分とは異なる意見をもつ他者と議論することを通して、道徳的価値を多面的・多角的に考えられるようにしていきたい。

4 本時のねらい

主人公が席替えのやり直しを提案した理由について考えることを通して、正義と公正さを重んじ、誰に対しても公正に接し、差別や偏見のない社会を実現しようとする態度を育てる。

5 本授業のポイント

- ① 生徒が自分事として考えられるよう、教材の特質を踏まえた発問を位置付ける。
- ② 他者と議論することを通して、道徳的価値を多面的・多角的に考える。
- ③ ICTを効果的に活用し、生徒が他者の考えを知り、共有して多面的・多角的に考え、自分の考えを表現する。

6 本時の展開

	学習活動 ○主な発問 ・予想される児童生徒の発言	留意点や評価の観点 等
導 入	<p>1 教材を読み、問題について話し合う。</p> <p>○「今から読む話の内容について、何が問題だと思いますか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回決まった席を、勝手に変える人がいること ・全員で新しい席替えの案を決め直したのに、自分のわがままをおし通そうとする人がいたこと <p>2 自分の生活場面と捉えた問題を照らし合わせながら交流する。</p> <p>○「自分の生活場面で、お話と同じように不正であり、不公平だと感じた場面はありますか。それは、どのような場面ですか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・係を決めるときに、1度決まったのに自分がやりたくない係だからと泣いてわがままを言う人がいて、変わってあげたとき ・修学旅行の班決めて、仲のいい人と同じ班になれなかったからと怒りだす人がいて、班決めをやり直したこと ・自分たちも考えがあったのに、先輩の意見だけで、物事が決まってしまったこと 	<p>□教材の問題状況と向き合わせることで、ねらいとする道徳的価値への方向付けを行う。</p> <p>□必要に応じて、事前にGoogleFormで取った「不正」や「不公平」に係るアンケート結果を提示する。</p>
展 開	<p>3 教材を読み、話し合う。</p> <p>○「教材の登場人物の発言や考え方に共感したり、分らなかったりするものはありましたか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決まった席から勝手に席を変えたりする人がいる中、「私」が勇気を出して、始めに自分が引いたくじの番号の席にもどることを提案したことに共感した ・席を始めに引いたくじの座席にもどすことを、学級のみんなに理解してもらうために、説明をして納得してもらおうとしているところに共感した ・新しい席が決まったのに、なぜ「私」がくじを引いた座席にもどるように提案するのか分からない <p>補「出てきた発言や考え方で、学級にとって1番意味のあったものはどれですか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝手に席を決め直した人たちに対して、そのままにせず、委員長や仲間と相談したこと。 ・仲間と相談したことを、勇気を出してみんなに提案したこと ・「私」が、最初に引いたくじの席にもどることについて、 	<p>□教材の登場人物の発言や考え方について交流することを通して、人間理解につなげる。</p> <p>□自分の考えを1人1台端末を活用して入力させるとともに、Jamboard上で考えの共有化を図る。</p> <p>□自由に意見を交流したり議論したりする場を設定し、他者理解や価値理解につなげる。</p>

<p style="text-align: center;">みんなに理解してもらうために発言しているところ</p>	<p>○「『私』が思い切って手を挙げた行動は、学級にとって本当に意味があったと言えますか。その理由は何ですか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私」が勇気をもって提案したことにより、公平な席替えになったから ・自分勝手な行動をする人たちは文句を言っているが、きっと心の中では理解しているから、意味があったと思う ・勝手に席を変えた人たちに対して不満があった人もいたと思うから、意味があったと思う ・「私」の提案に対して、文句を言っている人がいなくなったわけではないから、全員が納得して最初に引いたくじの席にもどってはいないので、意味がなかったと思う <p>4 内容項目と関わらせながら、社会の在り方について考える。</p> <p>○「人が、不正であり不公平だと感じない社会を築くことは、可能なのでしょうか。可能だとしたら、人が大切にしなければならないことは何なのでしょうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可能だと思う。周りの人の気持ちを考え、自分の思い通りにしようとしないうこと ・可能だと思う。不正や不公平だと感じたときに、勇気を出して考えを伝えることが大切 ・難しいと思うけれど、可能にできるようにしたい。自分から意見を言うのは難しいかもしれないけれど、不正や不公平だと感じたときに、友達とか周りの人に相談することが大切だと思う 	<p>■「私」の思い切って手を挙げた行動と学級集団とを関わらせながら、多面的・多角的に考えているか。【発言・ワークシート（端末上）】</p> <p>□教材から離れ、社会の在り方と道徳的諸価値とを照らし合わせて考えさせることを通して、価値を主体的に考えさせる。</p>
<p style="text-align: center;">展 開</p>	<p>5 学習の振り返りをする。</p> <p>○「あなたは、これから不正や不公平さと、どのように向き合っていきますか。」</p>	<p>□端末上に記述させる。</p> <p>■正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現について、自分との関わりで考えている【発言、ワークシート（端末上）】</p>
<p style="text-align: center;">終 末</p>		